

ゆめプラ写真展

テーマ：これが私のとっておき！～ゆめプラスマホ写真部員が撮りました！
 毎月、設定したテーマに基づき、ゆめたろうプラザで撮影した写真を公募し、掲載していきます。



タイトル：彗星を撮る人を撮る

2024年10月、紫金山・アトラス彗星が西の空に見えました。ゆめたろうプラザではプラスマホ写真撮影会が行われました。【撮影 つっちー】



タイトル：夕焼けの名所

ゆめたろうプラザからの夕暮れは楽しみで仕方がない！この瞬間の美しさに出会って欲しい。【撮影 うっちー】



タイトル：輝きホールの内側から

夕陽が全面に広がる穴場スポット！でも、ホールに入らないと撮れない一枚。【撮影 みっちー】



タイトル：みんなでチャレンジ！

カメラやスマホを使って動画の撮り方を楽しく学びました。先生の説明を聞きながら、それぞれが実際に撮影に挑戦中！少し緊張しながらもワクワクした空気が広がっていて、「やってみるって楽しい！」が伝わってくる一枚です。【撮影 ぴろこ】



タイトル：うちのピアニスト

ある時は書類をさばき、またある時はショパンをさばく。その正体は・・・！【撮影 もみー】

タイトル：舞台おさめ

ゆめプラに勤めて初めての年末。舞台の神様にお礼を伝えて新年を迎える準備をしました。【撮影 いづちゃん】



次号のテーマは「芝生広場」 あなたが芝生広場で撮ったとっておきの1枚をお送りください。

スマホの場合は右の二次元コードから、パソコンの場合 【宛先】npo@yumetaro.net へ写真を1枚添付してお送りください。
 ※【件名】だより写真展応募【本文】ペンネーム、写真タイトル、写真を撮った時の様子をご記入ください。
 写真サイズはスマホ、パソコンともに3MBまで 締切は6月16日（火）12時



■まちセミ報告



2026年2月21日（土）、子どもアドボカシーセンターNAGOYA代表理事 原京子さんをお迎えし、文化のまちづくりセミナー第16弾 Part3「一人ひとりが尊重されるために 子どもとおとなで学ぶ“子どもの権利って、そもそもなあに？”」いっしょに考えよう！子どもたちの“今”を開催しました。講演では、子どもを思って手を貸しているつもりが、実は自主性を奪ってしまうことがあるという気づきが多くの参加者から語られました。子どもを自分の一部のように扱ってしまう無意識の姿勢が、人権を見えにくくしていることにハッとさせられたという声もありました。子どもの権利条約が示すように、権利は生まれながらに無条件で保障されるもの。こどもの声に耳を傾け、主体性を尊重することの大切さを考え直すよい機会となりました。

■編集後記

ゆめプラ22年目の春は、スイスから来日した3人の女神、トリオ・アルテミスで幕を開けます。スイスの中立国で豊かな国の代表ですが、文化芸術の定義もボーダレスで、誰もが享受できる権利を持っています。▽昨年度開催した事業のアンケートはどれも満足度が高く、様々なジャンルで沁みる舞台体験ができたようでした。▽初掲載のゆめプラ写真展は、スタッフが撮影をした、とっておきの1枚でどの写真にも愛情が詰められています。▽レイアウトを刷新した情報誌「ゆめプラだより」はどうでしたか？面で見える紙媒体は、一目でお気に入りの記事を探すことができる利点があります。これもボーダレスな要素の一つですね。

杉山館長



■お問い合わせ

〒470-2555 愛知県知多郡武豊町字大門田11番地
 TEL: 0569-74-1211 FAX: 0569-74-1227
<https://yumetarou-kaikan.net/>

- 休 館 日／月曜日（祝日の場合は、翌平日）及び年末年始
- 受付時間／午前9時～午後9時



■交通アクセス

- 名鉄河和線 知多武豊駅より徒歩20分
- J R武豊線 武豊駅から徒歩25分
- 知多半島道路 武豊 ICより車で5分